

# 場を広げる・人を広げる

～病弱障がいの生徒との実践～

大分県立別府支援学校

大分県立別府支援学校  
教諭 高野 嘉裕

# 対象生徒との関わり

知らない教員や、関わりの少ない教員と接することが  
ストレスになると言われていた。

一昨年度、昨年度はサブティーチャーのような感じで  
学習等に参加していた。

# 対象生徒の実態

中学部3年生 女子

## 不安性障がい

不安や恐怖の感情が過剰に付きまとい、日常生活に支障をきたす。過度のストレスや疲れなどをきっかけに感情のバランスが崩れ、理由に不釣り合いな不安と恐怖が出つづけてしまう。



# 対象生徒の実態

中学部3年生 女子

不安性障がい

校内でも関わる人が限られている。

慣れない人との関わりがストレスになる

不安だったり緊張した時はぬいぐるみを介しての会話になる



# 対象生徒の実態

中学部3年生 女子

不安性障がい

自律神経失調症

疲れやすい,めまい,ふらつき

誘引としては・・・

精神的ストレス

身体的ストレス

(光・音・温度・気圧等)



# 対象生徒の実態

中学部3年生 女子

不安性障がい

自律神経失調症

登校は週に1回  
1～1時間半程度

学習や生活によるストレスが  
引き金となり、ベッド上から  
起き上がれない状態になる。



# 対象生徒の実態

中学部3年生 女子

不安性障がい

自律神経失調症

広汎性発達障がい

対人関係等の困難さ  
こだわり・興味の偏り



# 保護者から

- ・ 家庭でも大きな変化は入れずに過ごしています。
- ・ 一緒に買い物に行っても車で待つことが多いです。
- ・ 体調を崩すと、回復までに時間がかかります。
- ・ 音や光、気温や気圧の変化に敏感です。
- ・ 見え方が独特な場合があります。
- ・ 毎日、リセットされているような感じなのでは？





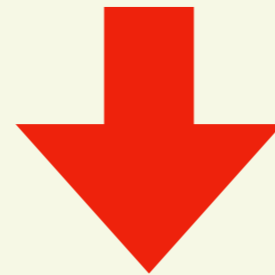


# 4月は安定を優先

毎年、新年度は担任の交代などが不安要素となり、大きく体調を崩す

学部が変わる中学部1年生の時は1~2ヶ月欠席  
担任の交代がなかった2年生のスタートも一ヶ月欠席

変化に対する苦手さが見えたが・・・



今年度は4月の欠席もなく、毎週登校できた



前年度の学習の流れを引き継ぎ、内容や学習場所に大きな変更を加えずに実施

# 学習の様子



現在は I 課程  
(準ずる教育) に在籍


登校後、1日の日程を確認






本人が記入


担任等、関われる教員が  
教科学習を実施  
1教科 10～30分

【登校した時間】( 3 ) : ( 50 )  
【下校の時間】( ) : ( )



時	内容	時間	シール
1	えいご	10 分間	
2	ちうかく	25 分間	
3	おたのしみ	分間	
4		分間	

先生より 



# 学習の様子



現在は I 課程  
(準ずる教育) に在籍



「おたのしみ」として  
体育館で遊ぶ



日頃の運動不足解消  
身体の動きを高める

【登校した時間】( 3 ) : ( 50 )  
【下校の時間】( ) : ( )

時間割

時	内容	時間	シール
1	えいご	10 分間	
2	すうかく	25 分間	
3	おたのしみ	分間	
4		分間	

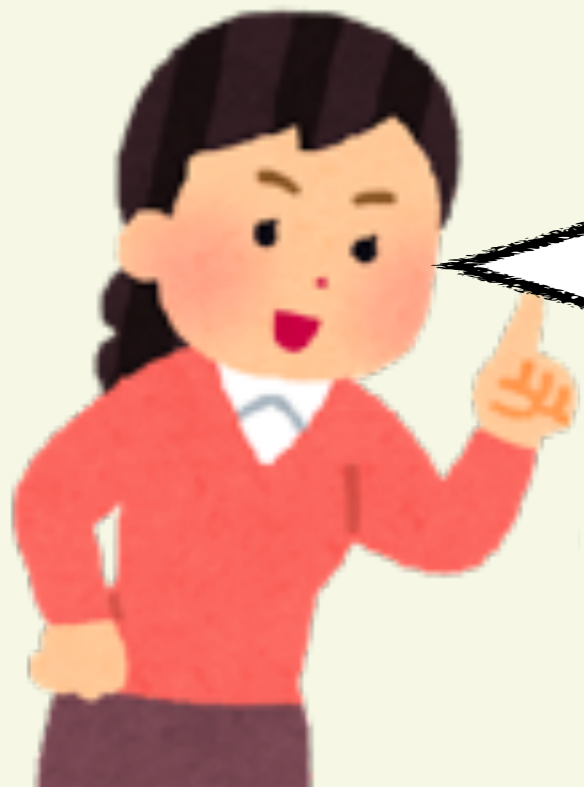
先生より



# 保護者から

小学部から中学部2年生まで  
広汎性発達障がい。

5月に自閉スペクトラム症の診断



なんとなく  
そんな気はしてました。

# 不安障がいを中心とした学習環境

小学部の時から変わらず、同じ教室を使用



学校の隅の教室 静かな環境

放課後でも教員が訪れる可能性が低い  
音や人によるストレスが少ないため

不安やストレスを感じないように

登校



教室で学習



体育館で運動



教室でまとめ



下校

安定だけでいいのかな？



安定



安定は確かに大切で、継続的な登校につながる。しかし、もう中学3年生、高等部への進学や将来を考えると安定も大切だが、新しい活動に取り組み、その中から本人が何が不安で、どんな時が不安かということを知ることが、本人の生活の幅を広げるのではないかな？



基本的な支援として

わかりやすい教材・環境設定



スケジュール、手順表の提示  
視覚的な支援（画像・動画）



# 昨年度の失敗



担任と協力して動画を作成し、登校できない時の繋がりをYoutubeで



本人が動画を見ることなく失敗・・・

視覚的な支援は有効のようだが・・・

見ることができないなら支援としては難しい

原因としたら・・・

感覚の過敏さ

不安

音

光

何が出るかわからない


昨年度の失敗もあるし  
どうしたらいいんだろう??



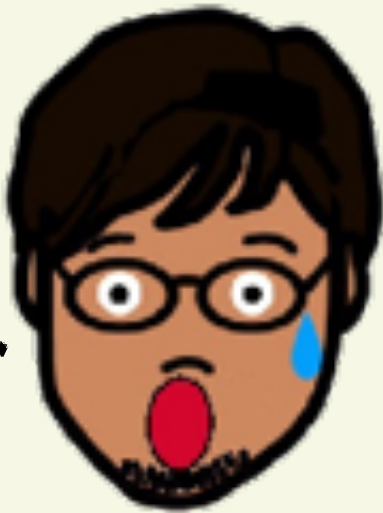
# とある登校日の話

そんな時

登校してきた彼女が嬉しそうに話してきました



Youtubeで  
ストプリのバーチャルライブ見たよ！



へえ～・・・どうやって見たの？

自分のタブレットで！  
イヤフォンして！

なるほど・・・  
ストプリなら見れるのか・・・

# とある休日の話・・・



アニメイト行ってきた！！

姉に聞いた話から、行ったことのないアニメイトにどうしても行って見たいと思ったらしい。

大好きなストプリのグッズを見たいという気持ち  
いろいろなことを知っている姉への憧れ



大事なものは本人の意欲が持てる必然性

# 支援についての見直し

原因と考えられることに対して

感覚の過敏さ

音

光

不安

何が出るかわからない

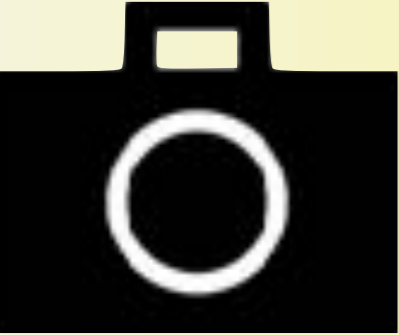











過敏さへの配慮をしつつ  
段階的に確認

見るものの予告

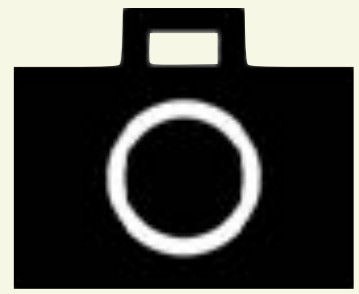


本人が見たくくなるような内容

# 画像や動画の提示にあたり

	風景・景色	人	音声	刺激
 画像を使用				景色
				景色 人
 動画を使用				景色
				景色 人
				景色 音
				景色 人 音

# 画像や動画の提示にあたり



校内の画像（景色）を見る



クイズ

## 画像を用いたクイズ

だいもん！  
3年生のろうかで見つけた



校内の画像（人あり）を見る



## 画像を用いたクイズ

動きのない画像は大丈夫なので、次は動画を使って



# 画像や動画の提示にあたり

校内の動画

(景色・音あり) を見る



校内の動画

(人物あり・音あり) を見る



動画を用いたクイズ

動画を用いたクイズ



風景・人物・音などの要素が入っても見る事ができた



結果は全て見る事ができた

	風景	人	音声	刺激
				景色
				景色 人
				景色
				景色 人
				景色 音
				景色 人 音

保健室

身体計測  
できないかしら？



クイズ

だい3もん！

ほけんしつで見つけよう







# ほぼ初見の先生と一緒に身体測定ができた

今年来た  
養護教諭

話せない時の  
指差しカード



# 保健室に行けない・身体測定ができないを 失敗にしないような準備

22:46 0月29日(水) プレゼンテーション 視力検査 数検用 1.0

スライドショーの時に  
実際のランドルト環と同じ大きさに  
なるように設定

↓

C

すぐに次の数値にいけるように

すすむ    ほか    もどる

The image shows a screenshot of a presentation software interface. On the left, there is a vertical list of slide thumbnails, with the 11th slide highlighted in blue. The main area displays a white slide with Japanese text. The text reads: 'スライドショーの時に 実際のランドルト環と同じ大きさに なるように設定' (During the slide show, set it to the same size as the actual Landolt ring). Below this text is a large red arrow pointing down to a black circle containing the letter 'C'. Below the circle, the text says 'すぐに次の数値にいけるように' (so you can immediately go to the next number). At the bottom of the slide, there are three buttons: 'すすむ' (Next), 'ほか' (Other), and 'もどる' (Back). Each button has a small blue circular icon on its right side. The top of the screen shows a status bar with the time '22:46', date '0月29日(水)', and various icons for presentation control and system status.



# 1 学期にできたこと



野菜販売の準備（計量・袋詰め）

→場所の移動・初めての作業

野菜販売の経験（知っている教員に）

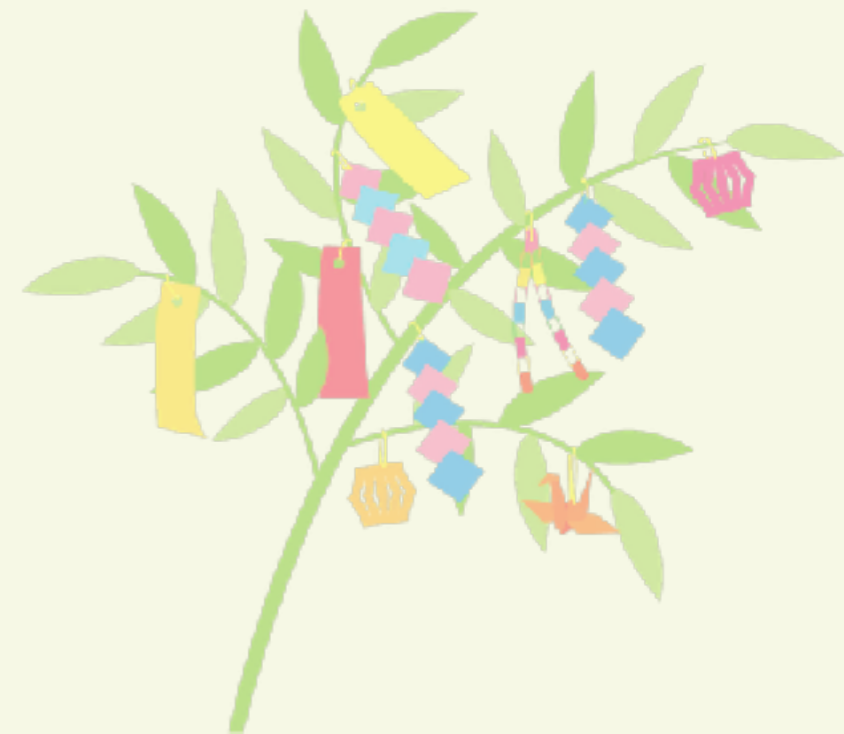
→場所の移動・初めての経験

七夕の短冊を飾り付ける（図書館に行って）

→場所の移動・知らない人がいる空間

身体測定、視力・聴力検査

→場所の移動・初めて関わる人



# 1学期にできたこと

野菜販売の準備（計量・袋詰め）

→場所の移動・初めての作業





4



ひとつずつ  
のせてみよう

じゃがいもを はかる(300グラム)



5




じゃがいもを ふくろにいれる




1000円、500円、400円をもらった時は

$$\boxed{\text{もらったお金}} - \boxed{\text{やさいのねだん}} = \boxed{\text{おつり}}$$


せんえんの時


$$\boxed{1000\text{円}} - \boxed{350\text{円}} = \boxed{650\text{円}}$$

ごひゃくえんの時


$$\boxed{500\text{円}} - \boxed{350\text{円}} = \boxed{150\text{円}}$$

よんひゃくえんの時


$$\boxed{400\text{円}} - \boxed{350\text{円}} = \boxed{50\text{円}}$$

対象生徒の実態として見えてきたこと

不安性  
障がい

自律神経  
失調症

自閉  
スペクトラム症

対象生徒の実態として見えてきたこと

自閉スペクトラム症

感覚の過敏さ

見通しのもちにくさ

不安性障がい

過敏さによる経験  
見通しの持てない不安

自律神経失調症

ストレスで  
身体のバランスを崩す



# 場の広がりから人の広がりへ

場所

保健室

中学部教室

多目的ホール

図書室

教室



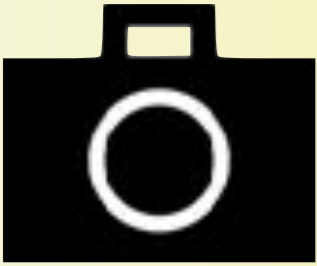
















人

担任

前担任

少しずつ広がってきた、校内で活動できる場

# 終業式に新しい世界を！

	風景・景色	人	音声	刺激
 画像を使用				景色
				景色 人
 動画を使用				景色
				景色 人
				景色 音
				景色 人 音
 zoom				ライブ！



# 場の広がりから人の広がりへ

場所

保健室

中学部教室

多目的ホール

図書室

教室



人

担任

前担任

すとぷり

モンハン

あつもり



彼女の気持ちに基づいた関わりを一步ずつ

3年生ズの仲間として  
卒業してもらいたいな

